



はなもみじ

平成22年
5月10日

屋代
小学校
春秋ごとの句なり

児童総会で活動計画の承認

～ 5月7日(金)4～6年生が参加 ～



児童会目標: いつでも協力 いつでも元気
いつでも仲良し 屋代小

児童会長からの「新児童会が発足して2か月。6年生は最高学年としてがんばっています。4・5年生は委員会活動に慣れ、しっかりと当番活動をしてきています。一人ひとりが考え、自分で行動することで、はじめて児童会活動といえると思います。よい児童総会にしましょう」というあいさつで、総会が始まりました。委員会ごとの特色を出した議案書、要点を押さえた簡潔な提案、たくさんの意見・質問等、大きな成長を感じました。

学校長の話 第1回の児童総会が、きびきびと工夫された内容で行われました。委員長は、大きな声で発表してくれました。それに対して、聴く側は、姿勢もよく、拍手もあり、その内容をよく聴いていました。「**ぼくも、やるよ!**」という意志表示だったと思います。

質問・意見もたくさん出されました。これも「**わたしも、児童会に参加します!**」という気持ちの表れです。発言の内容も、今の活動への励まし、こうしたらどうかという提案、よい活動なので続けてほしいという応援等、素晴らしいものでした。委員長の質問への受け答えも、的確でした。

明日から、児童会の目標に向って、役員だけでなく、一人ひとりが活動していきましょう。屋代小がよくなるために、自分ががんばるんだという姿を楽しみにしています。

私も、明るいあいさつをし、無言清掃をしたいと思います。みんなでがんばりましょう。

最近の学校生活から



練習時間 7:50～8:10

第14回更埴小学校陸上競技大会(5/23(日))に向けて、朝練習が始まりました。心身を鍛え、屋代小代表として、堂々と参加してください。



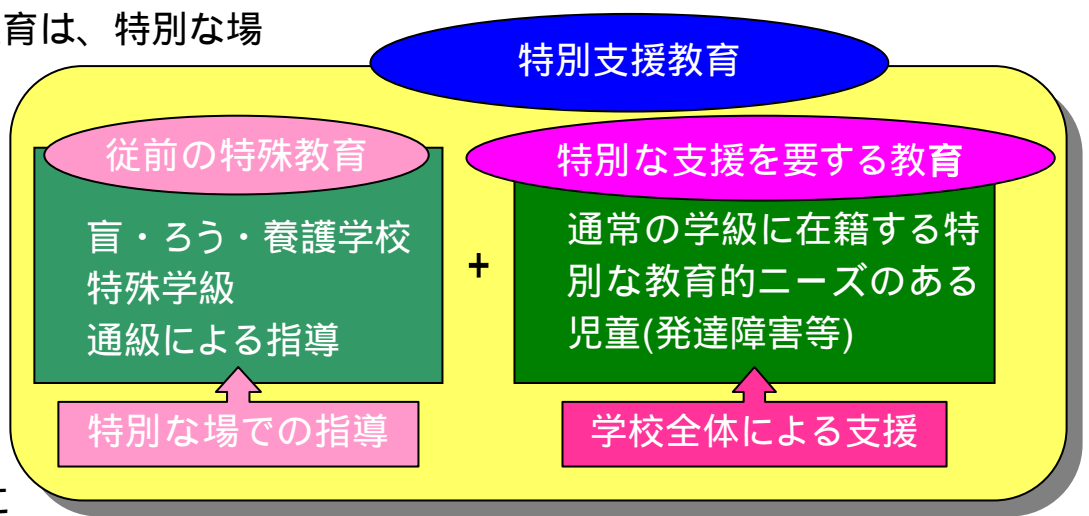
陸上競技選手結団式

エイエイオー!
エイエイオー!

障害のある子どもの教育は、以前は「特殊教育」と呼ばれていましたが、平成18年6月に学校教育法が改正され、平成19年4月から新たに「特別支援教育」としてスタートをしました。今年で4年目です。

特別支援教育の理念は、障害のある子どもの一人一人の教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導及び必要な支援を行うというものです。お仕着せの既製服のような教育ではなく、この子にピッタリあったオーダーメイドの服のような教育といえわかりやすいでしょうか。

さらに、その教育は、特別な場（特別支援学級）で行うだけでなく、通常の学級を含め、学校全体で実施することとされています。特殊教育では、支援の対象に



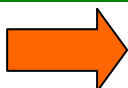
なりにくかった発達障害児へも、積極的に支援を行えるようになりました。

* 制度改正により、盲・ろう・養護学校は特別支援学校、特殊学級は特別支援学級になりました。

特別支援教育では、できないことをできるようとするのではなく、できるところを伸ばすことが基本です。

特別支援教育の基本
子どもの可能性(よさ)を伸ばす教育

子どものとらえ: 欠点ばかりに目を向けず、よい面を基に子どもを理解する。



よい面がさらに伸びる指導をする 苦手な面が見えにくくなっていく。

だれも、足の悪い子どもに「速く走れ」とは言いません。障害を正しく理解し、今できることをいかし、よりよい自分を目指す指導をしていくのです。

障害のない子どもの教育にも、こうした考え方は必要です。欠点ばかりを指摘され、自分は「だめな子」と思い込んでしまっていると、がんばろうという気持ちは生まれてきません。自分には「こんなよい面がある」と周りから認められると、それに自信をもち、がんばってみようと思います。

本校は、特別支援教育が、学校教育の基盤となることを願っています。